

第66回全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー)は11日、東京体育館で男女準決勝2試合を行う。県代表の女子・都市大塩尻が勝ち進んでおり、第1試合の午前10時から、東九州龍谷(大分)と対戦する。県勢女子はこれまで4強が最高で、初の決勝進出に期待が懸かる。

(山浦雄一郎)

都市大 きょう準決勝



実戦形式の練習で関係を確認する選手たち(10日、川崎市内)

都市大塩尻はこれまで、1回戦から準々決勝までの4試合を戦った。春高バレーで何度も優勝経験のある八王子実践(東京)を2回戦で下し、3回戦では昨年夏の国体で敗れた大和南(神奈川)を倒すなど、格上相手に力を発揮して勝ち進んできた。対する東九州龍谷は、61、64回大会を4連覇した強豪だ。持ち味の高さや速さを兼ね備えた攻撃で、今大会も順調に勝ち進んできた。都市大塩尻はサーブで崩し、アタッカーにしっかりと2枚ブロックを付け、そこから持ち前のコンビバレーで圧倒する展開を狙う。岡田隆安監督は「横綱相手にチャレンジャーの気持ちで戦う。攻め所はある」と自信をのぞかせる。

都市大塩尻は10日、川崎市内の体育館で約2時間練習し、実戦形式で攻撃の関係を確認するなどした。エースポジションのレフト宮嶋望帆(3年)は「出足でリズムを作りたい。気負わずに全員で目の前の敵を倒していきたい」と意気込んでいた。



強豪・東九州龍谷と対戦

都市大塩尻はこれまで、1回戦から準々決勝までの4試合を戦った。春高バレーで何度も優勝経験のある八王子実践(東京)を2回戦で下し、3回戦では昨年夏の国体で敗れた大和南(神奈川)を倒すなど、格上相手に力を発揮して勝ち進んできた。対する東九州龍谷は、61、64回大会を4連覇した強豪だ。持ち味の長さや速さを兼ね備えた攻撃で、今大会も順調に勝ち進んできた。都市大塩尻はサーブで崩し、アタッカーにしっかりと2枚ブロックを付け、そこから持ち前のコンビバレーで圧倒する展開を狙う。岡田隆安監督は「横綱相手にチャレンジャーの気持ちで戦う。攻め所はある」と自信をのぞかせる。

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。